



新倉世紀

SOU-SEI-KYO will Create New Era of Warehousing.

情報マルチボックスへ

30年間の歴史と知的財産を活かし、
ロジスティクスネットワークのさらなる飛躍にむけて

経済はいま、世界規模での競争激化が進んでおり、物流業界においても、従来通りの価値基準だけでは物事を測れなくなっています。流通改革となったSCM（サプライチェーンマネジメント）で重要な一環を担っている倉庫業にも新しい動きが求められています。現社会はIT化により膨大な情報量が瞬時に手に入る時代です。有効な情報を掴み、活用することが企業としての繁栄、社会に対する貢献、将来的なビジョンの構築になるといえます。

全国に広がる会員ネットワークを活かし、倉庫業青年経営者協議会（略称：倉青協）の発展および基盤の確立進展を目的として設立された倉庫業青年経営者協議会は今年30周年。節目となるこの年を「新・倉世紀」とし、さらなる飛躍をめざします。これまで培ってきた会員相互の知的ネットワークという貴重な人的資産を活かし、情報交換の場、会員相互の親睦の場としてはもちろん、情報マルチボックスとして会員の皆様方のビジネスに有効活用できるよう機能していきます。



30周年を期に、情報マルチボックスとしての倉青協の機能が、ますます活発に、有効になるように、新しい倉庫業の時代の扉が開いているイメージをマーク化しました。



ウェアハウスマネジメントにおける 新たなる価値の創造

ITによる流通革命、国内物流の顧客指向性、サプライチェーンマネジメント対応など物流業界は激動の時代を迎え、企業経営は、スピードと決断力が求められています。倉青協では、全国会員の有機的な連携をはかり、

これらの問題に積極的にアプローチし、知的ネットワークによるウェアハウスマネジメントの新たなる価値の創造を理念として、活動しております。



若手の交流による業界のレベルアップ 産・官連携による倉コミュニケーション。

活動理念

1973年(昭和48年)5月全国から50歳以下の倉庫業若手経営者120名が参加し『勉強と親睦』を指針に掲げ(社)日本倉庫協会と協調しながら明日の倉庫業に若い力を結集しようと倉庫業青年経営者協議会が結成されました。国土交通省、日本倉庫経営者倶楽部ともコミュニケーションを図りながら事業の活性化に努めています。



倉庫業若手経営者による 積極的な知的交流。

活動内容

年3回全国各地で開催される全体会を中心に各種委員会活動、物流施設見学など若手経営者の積極的な交流が行われ、情報化社会における様々な問題に対し、議論し、新たな価値を創造しています。『日本縦貫倉庫グループ』・『CPクラネット』・『押入産業』などの発想も倉青協の活動の中から生まれました。



歴史と伝統を育んできた歴代会長。 リーダーの意志は永遠に受け継がれる。



第14代会長
黒川 久
東邦運輸倉庫(株)
代表取締役

おかげさまで、1973年5月に設立されました倉庫業青年経営者協議会も、本年6月をもちまして創立30周年を迎えることになりました。これも一重に当協議会卒業の諸先輩、そして国土交通省ご当局や日本倉庫協会、並びに日本倉庫経営者倶楽部の皆様のご支援のもと、歴代会員各位のご努力と協議会繁栄への強い意思があったからにはかたがたお礼申し上げます。おりしもオイルショックの年にスタート、バブル景気が崩壊し、今日の厳

しい平成不況に至る30年間は、我々倉庫業を営む人間にとっては、まさに激変の時代であったと言えます。現在、平均年齢39歳という若いエネルギーに満ち溢れた新世代の協議会ですが、この30周年をひとつの節目に、50年、100年へと更なる繁栄に繋がるよう祈らずにはおられません。諸先輩・関係各位様には、今後ますます大所高所から、熱きご指導と変わらぬご厚情ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

歴代会長(1~14代 1973~2002)



初代
(1973.5~1977.5)
「親睦と勉強」
鈴木 又右衛門
太成倉庫(株)



第6代
(1985.6~1987.6)
「倉庫業を見直そう」
西尾 忠朋
(株)西尾倉庫



第11代
(1995.6~1997.6)
「倉庫業の未来に夢を語ろう」
大竹 広明
三信倉庫(株)



第2代
(1977.5~1979.6)
「親睦と勉強+助け合い」
河野 鉄雄
湘南倉庫運送(株)



第7代
(1987.6~1989.6)
「倉庫業の明日をめざして」
小泉 駿一
第一倉庫(株)



第12代
(1997.6~1999.6)
「倉庫会社の生き残り戦略」
真鍋 博俊
(株)博運社



第3代
(1979.6~1981.6)
「協業」
古川 浩司
芸備倉庫(株)



第8代
(1989.6~1991.6)
「元気の出る倉庫業へ」
山本 信彦
小樽倉庫(株)



第13代
(1999.6~2001.6)
「希望の持てる二十一世紀の倉庫業を見据えて」
森本 啓久
森本倉庫(株)



第4代
(1981.6~1983.6)
「協業」
安田 肇
大黒倉庫(株)



第9代
(1991.6~1993.6)
「元気の出る倉庫業へ」
鈴木 威雄
(株)富士ロジテック



第14代
(2001.6~2003.6)
「明るく改革する倉庫業を見据えて」
黒川 久
東邦運輸倉庫(株)



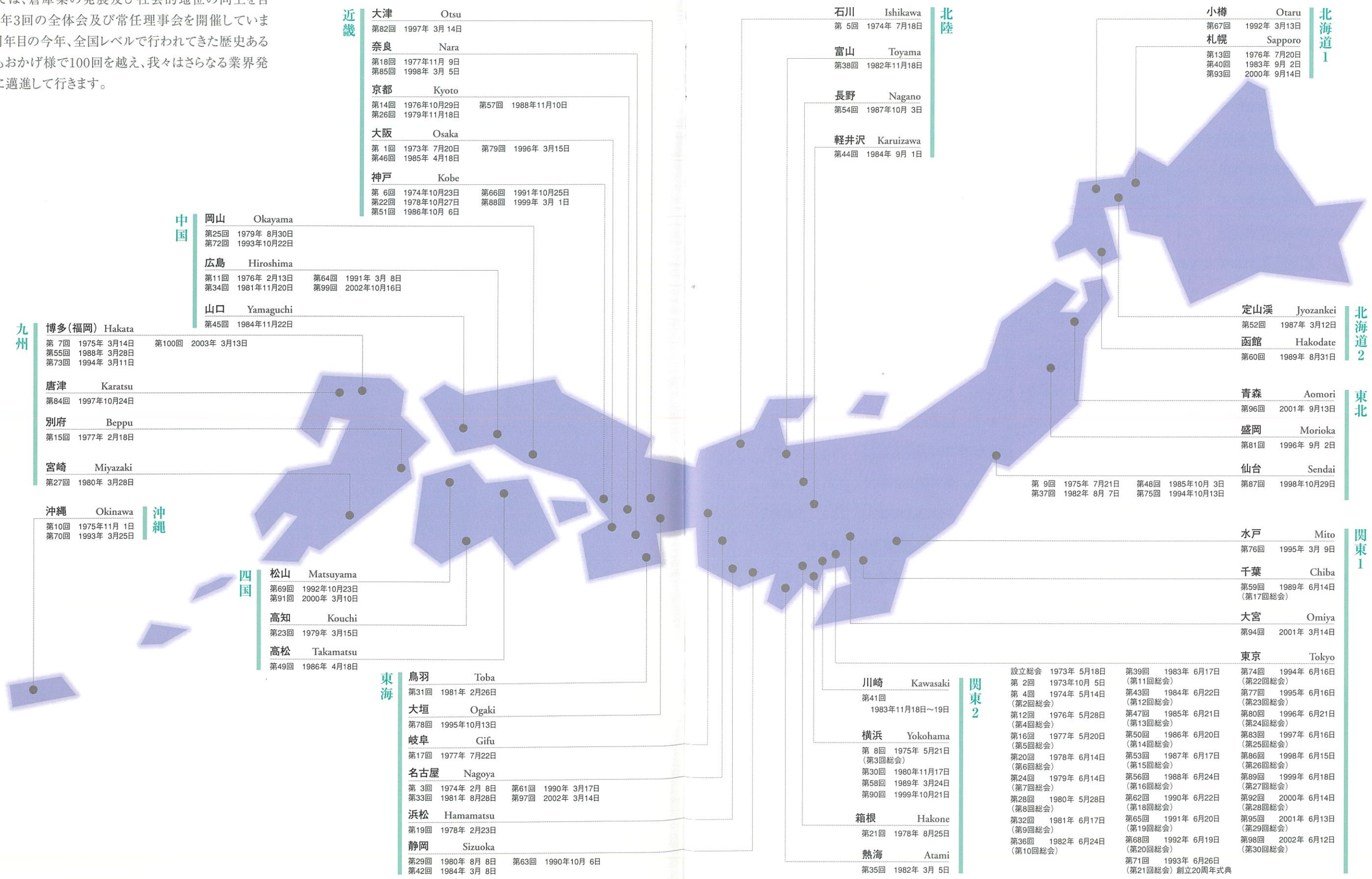
第5代
(1983.6~1985.6)
「道は一つ共に進もう」
清水 修一郎
中京倉庫(株)



第10代
(1993.6~1995.6)
「元気の出る倉庫業へ」
末長 範彦
岡山土地倉庫(株)

全国に広がる倉庫業界コミュニケーション。

倉青協では、倉庫業の発展及び社会的地位の向上を目指し、毎年3回の全体会及び常任理事会を開催しています。30周年目の今年、全国レベルで行われてきた歴史ある全体会もおかげ様で100回を越え、我々はさらなる業界発展の為に邁進して行きます。



全国若手経営者により築かれた価値ある時間

1973	5.18	設立総会	東京
	7.20	第1回全体会	大阪
	10.5	第2回全体会	東京
1974	2.8	第3回全体会	名古屋
	5.14	第2回総会 第4回全体会	東京
	7.18	第5回全体会	石川
1975	10.23	第6回全体会	神戸
	3.14	第7回全体会	博多
	5.21	第3回総会 第8回全体会	横浜
1976	7.21	第9回全体会	仙台
	11.1	第10回全体会	沖縄
	2.13	第11回全体会	広島
1977	5.28	第4回総会 第12回全体会	東京
	7.20	第13回全体会	札幌
	10.29	第14回全体会	京都
	2.18	第15回全体会	別府
	5.20	第5回総会 第16回全体会	東京
	7.22	第17回全体会	岐阜
	11.9	第18回全体会	奈良

1978	2.23	第19回全体会	浜松
	6.14	第6回総会 第20回全体会	東京
	8.25	第21回全体会	箱根
1979	10.27	第22回全体会	神戸
	3.15	第23回全体会	高知
	6.14	第7回総会 第24回全体会	東京
1980	8.30	第25回全体会	岡山
	11.18	第26回全体会	京都
	3.28	第27回全体会	富崎
1981	5.28	第8回総会 第28回全体会	東京
	8.8	第29回全体会	静岡
	11.17	第30回全体会	横浜
1982	2.26	第31回全体会	鳥羽
	6.17	第9回総会 第32回全体会	東京
	8.28	第33回全体会	名古屋
	11.20	第34回全体会	広島
	3.5	第35回全体会	熱海
	6.24	第10回総会 第36回全体会	東京
	8.7	第37回全体会	仙台
	11.18	第38回全体会	富山

1983	6.17	第11回総会 第39回全体会	東京
	9.2	第40回全体会	札幌
	11.18-19	第41回全体会	川崎
1984	3.8	第42回全体会	静岡
	6.22	第12回総会 第43回全体会	東京
	9.1	第44回全体会	軽井沢
1985	11.22	第45回全体会	山口
	4.18	第46回全体会	大阪
	6.21	第13回総会 第47回全体会	東京
1986	10.3	第48回全体会	仙台
	4.18	第49回全体会	香川
	6.20	第14回総会 第50回全体会	東京
1987	10.6	第51回全体会	神戸
	3.12	第52回全体会	定山渓
	6.17	第15回総会 第53回全体会	東京
1988	10.3	第54回全体会	長野
	3.28	第55回全体会	博多
	6.24	第16回総会 第56回全体会	東京
	11.10	第57回全体会	京都

1989	3.24	第58回全体会	横浜
	6.14	第17回総会 第59回全体会	千葉
	8.31	第60回全体会	函館
1990	3.17	第61回全体会	名古屋
	6.22	第18回総会 第62回全体会	東京
	10.6	第63回全体会	静岡
1991	3.8	第64回全体会	広島
	6.20	第19回総会 第65回全体会	東京
	10.25	第66回全体会	神戸
1992	3.13	第67回全体会	小樽
	6.19	第20回総会 第68回全体会	東京
	10.23	第69回全体会	松山
1993	3.25	第70回全体会	沖縄
	6.26	第21回総会 第71回全体会	東京
	10.22	第72回全体会	岡山



1994~1996年

- 1994 3.11 第73回全体会 (福岡)
(株)ふくや 川原 正孝常務取締役
「お祭りと経営」
- 6.16 **第22回総会** 第74回全体会 (東京) パレスホテル
各地区報告 (神奈川、福岡、滋賀、福岡)
- 10.13 第75回全体会 (仙台) 仙台国際ホテル
仙台藩伊達家の分家の子孫・瑞鳳殿顧問 伊達篤郎氏
「乱世を生き抜いた政宗」
- 1995 3.9 第76回全体会 (水戸) 水戸京成ホテル
茨城工業高等専門学校 佐久間好雄教授
「水戸の名君二代～光圈と斉昭」
- 6.16 **第23回総会** 第77回全体会 (東京) 東京海上ビル新館
三菱総合研究所 牧野 昇相談役
「変わる経済と新しい経営」
- 10.13 第78回全体会 (大垣) 大垣フォーラムホテル
分科会開催 (エイジグループ)
議題「魅力ある倉庫業を目指して」
- 1996 3.15 第79回全体会 (大阪) ホテル関西空港
各地区報告 (東京、東海、大阪、中国四国、九州)
- 6.21 **第24回総会** 第80回全体会 (東京) パレスホテル
エッセイスト 阿川佐和子氏
「男の魅力」
- 9.2 第81回全体会 (盛岡) 盛岡グランドホテル
分科会開催 (エイジグループ)
議題「倉庫会社の生き残り戦略」



第10代事務局
岡山土地倉庫株式会社
松尾 裕次

創立三十周年を心からお祝い申し上げます。

私が事務局としてお手伝いさせて頂いた中でもっとも印象深いことは、平成7(1995)年1月17日(火)午前5時46分に発生しました「阪神淡路大震災」です。当時、兵庫県には森本倉庫(株)森本社長様、寺本運輸倉庫(株)寺本専務様、篠崎倉庫(株)篠崎部長様3名の会員がいらっしゃいました。当日、会社に出社しまして兵庫及び大阪の会員の皆様に連絡を入れましたが、一般電話がうまく通じないで公衆電話を利用しながら全員無事の確認が出来るまでに相当の時間を要したように思います。

1月20日には、東京にて日本倉庫協会宮崎会長(当時)と当会常任幹事会メンバーとの懇談会が予定通り開催され、会の中で被害状況の話が出ましたが発生して間がないということもあり、正確な状況把握が出来なく歯がゆい思いをしました。

その後、3月に予定していました大阪での第76回全体会を茨城・水戸での開催に急遽変更することになりました。水戸での全体会を前に3月6日末長会長と私で兵庫の会員3名様のところへお見舞いと現状視察に訪問させて頂きました。新幹線(当時、姫路まで)と在来線を乗り継いで三宮駅に降り立ったとき、震災後1ヶ月半経っているとはいえ、まだ倒壊しているビルが放置されており復興にはまだまだ時間を要する

感じてました。会員の皆様へ訪問をし、震災直後の様子を当時撮られた写真等で被害状況をご説明頂き、現状の様子についてもお話をお聞かせいたしました。倉庫内も拝見させて頂きましたが、すぐに使用できる状態ではなくあらためて被害の甚大さを痛感しました。そのような中で、会員の皆様が復興に向けて、前向きな姿勢でいらっしゃるのを見て反対に元気付けられる思いがしました。3月9日に開催された全体会の席上で末長会長よりこの様子が報告され会員の皆様もご安心されたと思います。一方で、大阪から水戸に全体会が変更された際に、快くお引受け頂いた茨城倉庫(株)太田社長のご尽力により無事全体会を終了できましたことを大変感謝しております。

現在では、震災後8年を迎え街並みはすっかり復興し、何事もなかったかのように生活は営まれています。私にとっては忘れ得ぬ出来事でした。

最後に、事務局として至らない点が多々あったと思いますが、会員皆様のおかげを持ちまして無事大役を果たすことが出来ましたことをあらためて厚くお礼申し上げます。

倉庫業青年経営者協議会のますますのご発展と会員各位のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



茨城倉庫株式会社
太田 正明

第76回水戸全体会

1995年1月17日、午前5時46分 マグニチュード7.3 震度7。日本中を震撼させた阪神淡路大震災が発生した。森本さんに電話が繋がったのは何日か後であった。落ち着いた気丈な会話に少し安心したが大変な状況にあることは間違いの無い事実である。それからしばらくして電話が鳴った。

第76回全体会を大阪地区で開催を予定していたが阪神地区はとてその様な状況に無い。水戸で全体会を開催して欲しいという内容であった。アクセスが少し悪いがそれでもよければということで喜んで引き受けた。末長会長、事務局と相談しながら3月9日を迎えた。常任幹事会の後、ホテルからバスにて建設中の常陸那珂港視察に移動、茨城のビッグプロジェクトの一つを見ていただいた。水戸のホテルに戻って全体会、地元の海運支局長、県倉庫協会長、日本倉庫経営者倶楽部からは宮戸副会長に來賓として出席いただいた。全体会の報告事項として阪神淡路大震災の被害状況、とくに会員事業所の状況について説明があり倉庫業としての対応策はどうあるべきかが討議された。講演会では「水

戸の名君二代～光圈と斉昭」というテーマで少し勉強し、食事会場の大塚屋へ移動、新物好きの光圈が食べていたものを再現した黄門料理を食し、恥ずかしながら水戸のタクシーの正しい乗り方と心構え(詳しくは経験者にお聞きください)をレクチャー後二次会場へ向かった。倉青協恒例の飲み方で楽しい思い出を作られた方もおいでになったようです。私のレクチャーが効過ぎたのか歩いて帰られた方もいたと聞きました。翌日、ゴルフ組みは大洗ゴルフクラブにてプレー、観光組みは、日本三大公園の一つ偕楽園、黄門さんの晩年の住居である西山荘、芳野山荘という古い民家を改装した割烹で蕎麦懐石、水戸藩の藩校弘道館を見学し水戸駅にて解散。準備も急遽のことで大変な部分もあったが何よりも楽しい思い出で作りを出来たことで満足。

倉青協では多くの刺激と友人を頂きました。一生大事にしたい。本音です。

1997～1998年

- 1997 3.14 第82回全体会(大津) 大津プリンスホテル
立命館大学経営学部 石崎祥之助教授
「近未来の流通システムと倉庫業の生き残り戦略」
- 6.16 第25回総会 第83回全体会(東京) ホテル日航
ジャーナリスト 野中ともよ氏
「二十一世紀、あなたの時代」
- 10.24 第84回全体会(唐津) シーサイドホテル東館
松浦文化連盟 中里紀元会長
「大陸と海洋文化の十字路口-唐津」
- 1998 3.5 第85回全体会(奈良) ホテルフジタ奈良
分科会開催(エイジグループ)
議題「倉庫業が物流業界で生き残って行く為には」
- 6.15 第26回総会 第86回全体会(東京) 芝パークホテル
野村総合研究所 主任エコノミスト植草一秀氏
「日本経済の現状と展望-金利・為替・株価はどう動く-」
- 7.5 創立二十五周年記念海外研修
米国3PL関連事業視察
7月5日～7月13日(9日間)
- 10.29 第87回全体会(仙台) 三井アーバンホテル仙台
25周年記念事業米国3PL関連事業視察報告



中央自動車倉庫株式会社
新井 越雄

1998年当時の思い出etc

楽しかった倉青協を、不本意ながら卒業させられた昨年暮れ(30周年記念事業委員長)の樋口恵一さんからのメールが届き、パンフレットへの寄稿を頼むとのこと。追いかけるように日本倉庫協会発行の雑誌「倉庫」2002年度No.2に掲載された樋口さんの論文「中小物流下請け企業のこれからの経営戦略・戦術」に目を通した私は、愕然としました。物流業界の全体像を客観的に、且つ細大漏らさず適切にとらえ、業界が抱える問題とその処方箋を示す。殆ど主観だけで生きているような私にとって、この立派な論文は私に寄稿を躊躇させるに充分なものでした。しかし、人の気持(というより私の気持)は、いい加減なもので年が変わると、せっかくの倉青協の依頼だからということで、改めて筆を取ることにした次第です。1998年の倉青協の思い出、それは米国3PL事業視察旅行に尽きると思います。通常の会合ではなかなか親しきれなかったメンバーの人達と、急速に仲良くそして所謂腹を割った話が出来ようになったことは、米国の物流会社を訪問したことに劣らぬ収穫でした。北海道から九州に点在する同業の仲間達と率直な意見を交換する事が出来るなんてなんと素晴らしいことでしょう。本題の視察旅行で得たものと言えば、米国の物流業者もその運営手法に於いて決定的に異なる手法を取っている訳ではないことが確認できたこと。一方倉庫業を取り巻く法規制

が大いに異なること、即ち日本の建築基準法、消防法等が格段に厳しく、結果的に高コスト体質を余儀なくさせられていること。例えば、日本で当然の如く決められている1500m毎の防災壁などは全く見当たらず、柱も耐火被覆がされて無く天井に至っては、木製パネルという状態でした。東京都内で営む倉庫も地方の工業専用地域内で営む倉庫も基本的に同じ法律が、適用される現実。何か事故が発生する毎に、微に入り細に入り厳しくなる法律、施行規則等で倉庫業も日本全体もがんじがらめ。役人と政治家を半減しない限り真の規制緩和はあり得ないのでしょうか。個人的な話になりますが、1998年は私が7年間勤務し、私にとってのビジネス・スクールでもあった(株)日本リースが、親会社であった日本長期信用銀行の破綻に続いて連鎖倒産をした年でありました。その後、私の良く知っている先輩社員が、かの有名なGEの当時の会長、ジャック・ウェルチに倒産日本リースを売り込み、長銀出身の社長他上級役員を見事出し抜いて、新生日本リース(現在社名はGEキャピタルリーシング)の社長に納まってしまおうという、まるでテレビドラマを見ているような本当の話に出会えた年でありました。野球では、「ピンチの後にチャンスあり」ですが、経済では「ピンチの時にチャンスあり」です。前向きに行きましょう。



第12代事務局
株式会社博運社
小峠 務

2年間を省みて

倉庫業青年経営者協議会の創立30周年を心からお祝い申し上げます。私が倉青協と出会ったのは、平成9年3月に社長から呼ばれ、「今回倉青協の会長を受けることにしたので、君に事務局をやってもらう。資料等は後日渡すのでよく読んでおきなさい。」との内示を受け、自分の部署に戻るまでの間ソウセイキョウ?ソウセイキョウ?と考えている内に、セイソウキョウ・セイソウキョウになってしまい、「はて?当社は清掃関連の業務に携わっていたのかな?」と考えた次第でございます。大変失礼ながら、入社より営業所勤務でしたので総務部に異動して2年目の私には全く倉青協の団体の概要・活動等を知らない状況でした。後日、社長から倉青協の資料を手渡され拝読している内に、これはとんでもない事務局をおおせつかったものだと考える毎日でした。当時で全国に会員の方が101名で、総会、全体会、その他事業に対して、事務局は「なんば、どげんすとかいな?」と行動よりも考える日々が続きまして、事務局引継打ち合わせで三信倉庫(株)の井上様に当社まで足を運んで頂き、事務局の業務等を親切丁寧に教えて頂き何とか理解できたのを思い出します。私の事務局担当の中で一番の思い出は、やはり創立25周年記念で平成10年7月5日から7月13日の9日間、16名で実施されたシアトル、サンフランシスコ、ロサンゼルスのアメリア3PL関連事業視察です。九州の博多で生まれ育った田舎者の私がアメリカに行けると聞いた時は、事務局の立場を忘れ喜び、そしてこの時ばかりはより一層気

合が入り準備をしたのを覚えております。今、シアトルマリナーズでイチローが活躍していますが、テレビ、新聞等でその記事を見るたびに、この海外研修を思い出します。私にとって初めてのアメリカで感じたのは広くローコストな建物、大型化されたトラック、長い長いハイウェイ、情報力、ネットワークが印象的でした。また、私が事務局担当の間に、唐津、奈良、仙台、神戸で全体会が開催されました。各地方の幹事様には会場の手配、見学会、観光、ゴルフとお忙しい中の準備等をお願い致しまして、大変ご迷惑をお掛け致しました。お陰様で2年間の事務局が無事に終わりましたことを心より厚く御礼申し上げます。私にとって「倉青協」は一生忘れられない2年間でした。素晴らしい経営者の方々にお会いできましたし、日常業務では体験できないことをさせて頂き、それが今の自分に大きな財産となっています。倉青協の事務局は終わりましたがその後、今度は博運社を事務局と考えて人に対する接し方、行動、気配りを忘れず日々業務に精進しております。最後に本当に素晴らしい会の事務局をさせて頂きました事を心よりお礼申し上げます。また行き届かない所も多数あり反省ありましたが、私にとって多くのことを吸収させて頂いた充実した2年間でした。会長、副会長、常任幹事、会員の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。倉青協精神で歳をとっても、いつも心は青年でありたいという向上心を失わず、今後とも頑張っていきたいと思っております。

1999~2000年

- 1999**
- 3.1 第88回全体会(神戸) ホテルオークラ神戸
神戸市港湾整備局参事 小柴善博氏
「神戸港及び神戸の復興状況」
 - 6.18 **第27回総会** 第89回全体会(東京) 芝パークホテル
株式会社料理王国社 代表取締役社長 浅野裕紀氏
「グルメブームの裏表」
 - 10.21 第90回全体会(横浜) 横浜ランドマークタワー
倉青協HP準備委員会
「パソコンによる会員名簿の管理及びホームページの開設」
- 2000**
- 3.10 第91回全体会(松山) 松山全日空ホテル
公認会計士・税理士 加納敏孝氏
「相続」と「相続税」について
 - 6.14 **第28回総会** 第92回全体会(東京) 芝パークホテル
公認会計士・税理士 加納敏孝氏
「相続」と「相続税」について(第2回目)
 - 9.14 第93回全体会(札幌) アートホテルズ札幌
公認会計士・税理士 加納敏孝氏
「相続」と「相続税」について(第3回目)



第13代事務局
森本倉庫株式会社
高橋 勉

倉青協との2年間を顧みて

<倉青協との出会い>

1999年3月10日、倉青協第88回全体会がホテルオークラ神戸で開催されました。確かその翌々日だったと記憶していますが、「本年6月より『倉青協』の事務局を担当するように」との内示を受けました。『そうせいきょう』(?)永年、営業所勤務だった私には耳慣れない言葉でした。『倉庫業青年経営者協議会』の略称と聞いたものの、団体の概要、活動方針等について全く見当がつかせませんでした。後日、手渡された資料(会則、倉青協創立20周年記念誌、機関誌「そうせい」)を拝読し、倉庫業若手経営者による『勉強と懇親』の団体である事は理解できたものの、会員名簿に名を連ねた全国各地の錚々たるメンバーを拝見し、大変な事務局を仰せつかったと思ったのが正直な気持ちでした。

<全体会・懇親会>

当協議会創立以来のモットーは『勉強と親睦』ですが、公認会計士・税理士の加納敏孝先生による講演『相続と相続税』は5回シリーズで開催されました。オーナー経営者にとって相続税対策は避けて通れない重要事項であり、回を重ねる毎に好評を

博しました。一方、地方大会は、勉強よりもやや親睦に重点が置かれ、会員の皆様も開放感にどっぷり浸って居られるように見受けられました。しかしながら、地元幹事様は数ヶ月前より開催会場、宿泊の予約、見学会、観光、ゴルフの準備等、気苦労は大変なものだと感じました。こんな大苦労も知るや知らずや会員の皆様は超多忙な方が多く、一部の方は締め切り日が過ぎて出欠の回答が無く、また、前日及び当日にキャンセルがあり大変なご迷惑をお掛け致しました。横浜大会、松山大会、札幌大会、埼玉大会の幹事様には紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

<倉青協との別れ>

同業者でありながら、メンバー全体がオープンでアットホームな雰囲気があり、事務局から見れば誠に羨ましく思われました。二度と機会が無い貴重な体験をさせて頂きまして大変感謝致しております。当初の心配も何処へやら、終わってみれば短い2年間でした。会長、副会長、常任幹事はじめ会員の皆様、2年間本当にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。



大黒倉庫株式会社
安田 靖

倉庫業青年経営者協議会／ 横浜大会開催までの道のり

倉庫業青年経営者協議会(倉青協)は、毎年6月に東京で開催される総会の他に春秋各1回ずつ会員の地元で開催されています。開催場所は、通常は当該大会の前々回の倉青協全体会において決定されますが、横浜大会の場合は1999年6月の総会後の懇親会において、突然次回10月の開催が決定致しました。

全体会は、初日は地元物流関連施設の見学、常任幹事会・全体会、懇親会及び2次会の開催、翌日はゴルフないしは観光というのが一般的な日程であり、地元幹事の主な役割は、①全体会の開催場所②見学施設③懇親会・2次会の開催場所④ゴルフ・観光の設定です。(横浜大会では観光は実施されず、戸塚C.C.にて懇親ゴルフのみ開催)

全体会は、MM(みなとみらい)21内の横浜ランドマークホテルで開催したいと考えていたのですが、全体会開催時期と同時期にMM21内において世界規模の学会が開催されるため、参加者の宿泊室数が7月初旬時点で20室しか確保出来ません。他のホテルと交渉してもMM21内は同じ状況であるため、私の知人に同ホテルの支配人を紹介して頂き、全体会までに極力40室まで部屋を確保することとし、万一同ホテルで全ての部屋を確保出来ない場合は、MM21内の他のホテルに同額料金で部屋を用意する事を条件に、懇親会及び宿泊場所として横浜ランドマークホテルでの開催を決定致しました。

横浜という土地柄、他地区のホテルと比較して懇親会費や宿泊料金が幾分高額となるため、その他費用を抑えるために、全体会はホテルに隣接するビジネスタワー内の会議室を廉価で活用する一方、施設見学も横浜港振興協会が無料で運航している「横浜

港湾内クルーズ」を予約致しました。このクルーズは、出港場所がホテルから近いため移動時間も短く、また、約1時間の行程で「大棧橋～本牧ふ頭～ベイブリッジ～大黒ふ頭～つばさ橋～大棧橋」というルートで横浜港全体を運航するため、通常の物流施設見学とは異なる経験が出来るものとして計画致しました。

最後に残されている役割は2次会場所の設定です。横浜の歓楽街である関内へはMM21からも近く、同地区に飲食店は多々有るのですが、40～50名を収容でき、会員の希望を満たす店舗というものは限られています。2～3店に分かれての2次会も考えたのですが、やはり皆さん一緒の場所かと思ひ、多々交渉した結果、旧知の飲食店オーナーの紹介で横浜でも人気のある店で2時間を条件に1万円/人の予算で2次会を開催出来る運びとなりました。

横浜大会を開催するまでは、一会員として全体会に出席し、気楽に楽しんでたのですが、いざ地元幹事として各種準備を進めていく上で、「多くの会員の皆さんに参加して頂き、安く・楽しく・有意義に全体会、施設見学、会食等の時間を過ごして頂くか」ということを念頭に、いかにこれまでの歴代会長、事務局及び地元幹事の皆様のご苦労されてきたのかを認識させて頂きました。横浜大会は、当時の会長の森本様及び事務局の高橋様のご尽力に加え、各種手配には、私の知人・友人の協力のもと無事終了することができました。大会終了後、3年以上の月日が経っておりますが、大会開催の経験から、日頃の人間関係の重要性を改めて認識し、日夜(特に夜の部)交遊関係を強化し今日に至っております。会員の皆様もいつの日かくるであろう地元幹事の日を念頭に、是非公私にわたる交遊関係の強化をお勧め致します。

2001~2002年

- 2001**
- 3.14 第94回全体会(大宮)パレスホテル大宮
公認会計士・税理士 加納敏孝氏
「相続」と「相続税」について(第4回目)
 - 6.13 **第29回総会** 第95回全体会(東京)芝パークホテル
公認会計士・税理士 加納敏孝氏
「相続」と「相続税」について(第5回目)
 - 9.13 第96回全体会(青森)ホテル青森
分科会開催
「議題」 1班 賃金体系を考えるの巻
2班 今後の倉庫業界の進むべき道
3班 本業以外の事業について大いに語る
- 2002**
- 3.14 第97回全体会(名古屋)名古屋観光ホテル
分科会開催
「議題」 1班 本業から派生する関連事業
2班 これからの雇用体系について
3班 システム活用の事例
 - 6.12 **第30回総会** 第98回全体会(東京)芝パークホテル
分科会開催
「議題」 1班 ここ数年のデフレによる荷主企業からの物流費削減要請に
我社はいかに対応してきて、これからどう対応するのか?
2班 倉庫業はサービス業である!?
3班 わたしが社長になった時
 - 10.16 第99回全体会(広島)ワシントンホテルプラザ
分科会開催
「議題」 倉庫業規制緩和について
- 2003**
- 3.13 第100回記念全体会(福岡)ホテルオークラ福岡
川崎陸送(株)代表取締役 樋口恵一氏
「環境規制が倉庫業へもたらす影響について」
釜山港見学(3月14日~3月15日)
 - 6.11 **第31回総会** 第101回全体会(東京)芝パークホテル
30周年記念式典開催に至る



丸二倉庫株式会社
湯川 秀男

「倉青協」それは我が青春?

正直云って入会するまでは懇親を中心とする単なる若手同業者の集まりか、と思っていました。しかし実際に入会してみると多士済々、特に入会させてもらった'85年頃は錚錚たる先輩がおられ、真剣にLOGISTICSに取り組まれている姿に大きな刺激を受けると同時に志を共有する方々の交わりに胸が踊り毎回の全国大会が楽しみになっていたことを思い出します。当時はQCサークル発表会等も催し、確かダイワコーポレーションさんが最優秀賞を受けられ曾根社長が大喜びされていたことを思い出します。当時試行錯誤していた弊社のQC活動にも大いに参考になりました。他の集まりでは得られない場がそこにはありました。即ちお互い同業者であり基本的に同じ課題や問題を共有している、しかし他の会では競合する部分もあかなか腹を割って話しがしづらいものが倉青協では、胸襟を開いてそれも類似世代の方々と話し、相談することができるのです。私も倉青協の研修会や懇親の場を通じて多くのヒントや刺激を得ることができました、又、親しくなった方々との直接相談や

訪問を通じても多くのごことを学ぶと同時に全国各地に知己を得ることができました。そうです、もう一つの倉青協の魅力が全国ベースだ、ということです。全国大会で各地をお邪魔し、通常の旅行では行けないようなところを紹介頂いたり、いつもはお会いできない会員の方々と交流できたり本当に楽しくも意義深いものがありました。今後もこのような良き伝統を発展させ倉青協が単なる懇親の場ではなく、或いは他の会の下部組織であったりするのはなく、独自の存在意義を持つユニークな若手物流経営者の研鑽の場であり世界に発信できる組織に育って欲しいと願っております。



寺本運輸倉庫株式会社
寺本 徳成

創立30周年によせて

2001年度卒業の寺本です。この私が事もあろうに30周年記念パンフレットへの寄稿の依頼を受けました。しかも倉青協きっての論客である樋口恵一氏からではありませんか。識見豊かな樋口氏からの寄稿依頼は、私にとりましてはかなりのプレッシャーです。どんな内容を書こうか、まるで論文執筆に取り掛かるがごとく緊張しました。しかし良く考えますと、私に依頼がくること事態、難しい原稿内容は絶対期待されていない事はすぐ判りましたので、気楽に思うがままに書かせて頂きます。

振り返りますと、私が大変お世話になっておりました森本倉庫(株)の森本禎二先代社長にお誘い頂き、倉青協に入会致しましたのが1988年です。卒業までの13年間、多くのメンバーの方々と親交を深めることが出来たこと、本当に感謝しています。この間、各地で開催されました全体会には出来るだけ参加させて頂きました。お陰様で全国いろんな所へ旅行出来る機会となり、観光、珍しい食事、ゴルフ、おっとそれから各地の物流施設見学会や様々なテーマの講演会、そしてメンバーが分科会に分かれての意見交換会等、大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。

そして本当に入会して良かったと感じましたのは、全国各地から集まったメンバー皆さんと忌憚なく情報、意見交換が出来たことです。同業者の会というのは、とすれば本音のところはお互い閉鎖的になりがちですが、倉青協では一切そういう雰囲気はなく、むしろこちらが驚く程皆さんからいろんな情報が頂けたり、各社

の地域、規模、業態の違いはありますが、皆さんそれぞれが社内で苦心、工夫されている話が聞けたり、また時には会社、施設を訪問見学させて頂いたりと言った具合です。

そして昼間の全体会、真剣な勉強会の後、みんなで幹事メンバーの案内のもと、ご当地夜の街に繰り出でての二次会です。この落差もまた楽しい思い出です。お酒も入り皆さんも素になって、昼間と違うリラックスした雰囲気で大騒ぎする訳です。時には同人物とは思えないくらい豹変する方もいらっしゃいました。ただ私の場合無口、不器用が災いし、ムードに乗り遅れ、よく悔しい思いも致しましたが、今となっては良い思い出です。

こんな素晴らしい倉青協を昨年卒業してしまい、ちょっと寂しい気持ちでおりますが、この度創立30周年とのこと、今後も40周年、50周年と歴史を積み重ねて頂きたいと思っております。

そのうち私の息子もご縁を頂ければ、是非入会させまして、父親の名誉回復に努めさせたいとも思っております。その折は皆さん宜しくお願い致します。





浜栄港運株式会社
村上 正純

倉青協に参加して

私が倉青協に入ったのは、小樽倉庫(株)山本社長(当時の会長)より、倉青協はそれぞれの会社が別の事業(物流業以外も含めて)を行っている為、異業種交流の会であり大変勉強になる、とのお勧めで入会致しました。入会は1990年秋の静岡での全体会からでしたが、入会してで何もよく分からない私に、生川倉庫(株)井上社長から色々アドバイスをして頂きすんなりに溶け込む事が出来ました。それ以降も良き先輩として御指導をして頂いております。その間、退会する2000年6月の総会まで、29回中26回参加させて頂きましたが、いつもいつも印象に残る会だったと思います。倉青協は私が参加している色々な会の中でも非常に団結力が強く、研修と懇親とがバランスの取れた素晴らしい会だと思っています。その様な中で、歴代の会長が会をマンネリ化させないようテーマを考えられ運営された事、会長、事務局の方々のお世話が大変だろうなあといつも思っていました。懇親についても、各地区の料理、二次会、三次会と夜の一時の時間を過ごさせて頂きました。(特に盛岡でのわんこそばの大食い競争や、松山での〇〇さん事件など印象に残っています。)地方の担当の方には感謝しております。私のように地方都市に拠点があり、殆んどが地方で仕事をしている者にとっては、各地区で色々“見”“聞き”するものが非常に参考になりました。が、果たして私が皆さん方に何かしてあげられたのかなあと少し反省しております。会では年齢や地区が近いせいか、(株)アサヒ倉庫(奈良)の福本さんや、シンク(株)(大阪)の新川さんと仲良くさせて頂きました。その様な中で会には三つのタイプの方々で構成していた様な気がしました。(1.急進改革派 2.都市型穏健改革派 3.地方派)それぞれの方々それぞれ立場で研鑽され、それぞれが求心力を持って互いに“独自性”(この言葉は三信倉庫(株)の大竹会長がよく使われテーマにされていた)を求めていた感じがします。急進改革派の方々には日本の物流業(倉庫業も含めて)がどうあるべきかをよく勉強されており、それを広く知らしめる活動をされており、非常に参考になりました。(その御縁で今でも富士ロジテック(株)主催の勉強会には機会があれば参加させて頂いております。)都市型穏健改革派の方々には時間の流れが非常に早い都市部において、競争の激しい中業界の先頭に立ちながら自社の生き残りをかけ頑張っておられることが参考になりました。一方、地方派の方々には私のように地方にあってはどんな業種もやりながら地方で生きて行く、大資本の会社と違ったやり方で生きて行く方法を選んでいる事、他の地区の方々との交流で色々参考になる事が多くありました。(※失礼ながら三つの派という独自の区分をした事お詫び申し上げます。)

退会する前の全体会を今まで皆さん方にお世話になったお礼も込めて、愛媛県という事でお引き受けさせて頂きました。色々

どうすべきか考えました。

ポイントとしては、

- 1.研修(見学)をどうするか?
- 2.懇親会(料理、二次会、三次会)をどうするか?
- 3.観光、ゴルフをどうするか?
- 4.交通機関の接続をどうするか?

以上の四つのポイントを検討し、次の二つの案を考えました。

第一案として、私の地元新居浜(住友発祥の地)の開催

- 1.研修は住友化学(株)・住友鉱山(株)の物流施設の見学(会場からも含めて)
- 2.地元新居浜の瀬戸内料理、二次会、三次会
- 3.観光は別子銅山の見学、住友鉱山(株)の“金”の精錬工場見学、しまなみ海道観光
- 4.交通の便の接続が悪く、二泊、三泊の可能性大

第二案として、県庁所在地松山での開催

- 1.国指定第一号FAZ施設見学
- 2.愛媛県の地元の魚料理(アジ、サバ等)二次会、三次会
- 3.観光はしまなみ海道(今治～尾道) 河野水軍、村上水軍の歴史探訪と耕山寺、平山郁夫美術館見学
- 4.交通の接続は松山空港、新幹線利用可

上記を検討した結果、交通の便を考えて松山開催としました。(本当は新居浜でやりたかった……)料理については松山全日空ホテルに無理を言って出来るだけ地元の魚類を入れて頂きました。研修、観光(しまなみ海道)についても初めての方々も多く、料理等も含めて皆さん方に喜んでもらえた事、最後に地元愛媛開催で会員の方にお世話出来た事で退会出来ほっとしました。

最後に約10年間、先輩の方々にはよく指導頂き、同年代の方々には同じ世代として楽しく付き合っており、後輩の方々には先輩として立てて頂き、非常に良い方々と出会えた意義ある年月でした。本当にありがとうございました。



第11代事務局
三信倉庫株式会社
井上 裕子

倉青協30周年おめでとうございます。

私が事務局をやらせていただいてから、早いもので8年も経ってしまいました。若輩な何も出来ない私を事務局に選んだ社長の大竹の度胸と、頼りない事務局にも関わらず、怒りもせず、ただただ温かく接していただいた会員の方々に、とても感謝しています。

大竹の会長時代には、2年間の基本テーマ「倉庫業の未来に夢を語ろう」を掲げ、単年度のテーマを「魅力ある倉庫業めざして」、「倉庫会社の生き残り戦略」ということでこれに沿って討論、講演、見学等を行いました。特に討論の場において、同世代の仲間意識を高めるために、年代別にエイジグループを作りました。その名も「小学生グループ」「中学生グループ」「高校生グループ」「大学生グループ」。会員の方々が小学生の顔のマークやにきび顔の中学生のシールを名札に付けて討論している姿はとても印象に残っています。事務局だけがそれぞれのグループにお邪魔する特権を持っていましたが、どのグループも、笑いあり、真剣な表情あり、良い雰囲気の中身の濃い分科会をされていました。

また、TVタックルに出演しているエッセイスト阿川佐和子さんに「男の魅力」、ジャーナリスト野中ともよさんには「二十一世紀、あなたの時代」というテーマで講演をいただき、会員の方々の魅力が更にアップしたことは言うまでもありません。きれいな方を前に会員の方の目も輝いていました。

日本全国いろいろなところに行けるのは倉青協の魅力です。様々

な物流見学会も貴重な体験でしたし、各地の美味しいものを食べられたことも事務局の特権でした。毎回毎回失敗を繰り返し本当にご迷惑をおかけしたと思います。事務局というのはどんな事をすれば良いのかもわからず、毎日何度も、前事務局の方に電話し、ご迷惑をかけました。電話が鳴ると「あ、井上さんだ」ときっと思われていたに違いありません。ある全体会の時には、幹事の方が非常に多忙でなかなか連絡が取れず、開催できないかと焦ったことや、懇親会の鵜飼の舟でみなさんに「トイレにしばらく行けないので今のうちに!」と言ったくせに自分が我慢できなくなり、船を途中で接岸させてご迷惑をおかけしたり。来賓の方の名前を間違えて読ませてしまったこともあり。出席人数が名簿の人数とどうしても合わず、会員の方々をつかまえて「〇〇さん!」「はーい!」と一人一人点呼し、返事をさせてしまったりもしてしまいました。きっと私だけでしょうね。本当にすいません!

怒らず笑顔で見守っていただいたみなさんに本当に感謝しています。貴重な素晴らしい経験と困ったら助けてくれる全国の素敵な方々とお会いできてとても楽しい2年間でした。

倉青協という素晴らしい会に携われた事は私の宝ですし、誇りでもあります。いつまでも素敵な会として繁栄されることをお祈りいたします。



結城運輸倉庫株式会社
結城 幸彦

C.Pクラネットそして押入れ産業万歳

倉庫業青年経営者協議会、30周年おめでとうございます。卒業生の一人として心からお祝いと、感謝を申し上げます。

10年前に記念誌を発行したときクラネットの命名にまつわるエピソードを紹介しましたが、それから10年の時代の変化を思うとき、今更ながらに良い会社を作ってくださったものだと、諸先輩に心から感謝すると共に、出生母体である倉青協に郷愁さえ覚えるものがあります。VAN・スイッチングセンター・イントラネット・グループウェア・ホームページ・ITと、新聞雑誌やマスコミに出てくる言葉が我が事であると感じるのも愉快に感じるところであります。メンバー会社の方々の協力で新規の顧客を獲得し、それらの要望に応える一つ一つが今を生きる会社であることを認識し、今ここに未来を見極めたいと思っております。押入れ産業には東京加盟1号店として今日に至っていますが、常に敬服させられるのは、

私を倉青協に招き入れてくれた先輩諸氏が今もなお青年の情熱をいまだ持ち続け、新商品の開発に腐心し、時代のニーズを嗅ぎ取るべく感性を磨き続けているということです。クラネット・押入れ、そして倉青協は時代の申し子であると言えましょう。

「失われた10年」不安感を売り物にするマスコミの論調何するものぞ、日本の物流を担う気概を持ち、そのことを自らの責任と考え、したがって飲む事も遊ぶことも、学ぶことも手抜きせず、しかも健康第一に歩む人々に、栄光あれ!





倉庫業青年経営者協議会